

CIGS 講演会

東アジアのパワーシフトと 日本の国家ビジョン

-中国の七つのシナリオと日本の対応-

2013年10月7日

キヤノングローバル戦略研究所
研究主幹 宮家 邦彦



旧スライド

パワー・シフトとグレート・ゲーム

18世紀末-(第一次グレート・ゲーム)

パクス・ブリタニカ始まる(産業革命、織物技術)

19世紀末-(第二次グレート・ゲーム)

露・独・日等新興国の台頭(鉄鋼・重化学技術)

20世紀中頃-(第三次グレート・ゲーム)

パクス・アメリカナ始まる(電気、自動車技術)

1990年代(米国一極支配の時代)

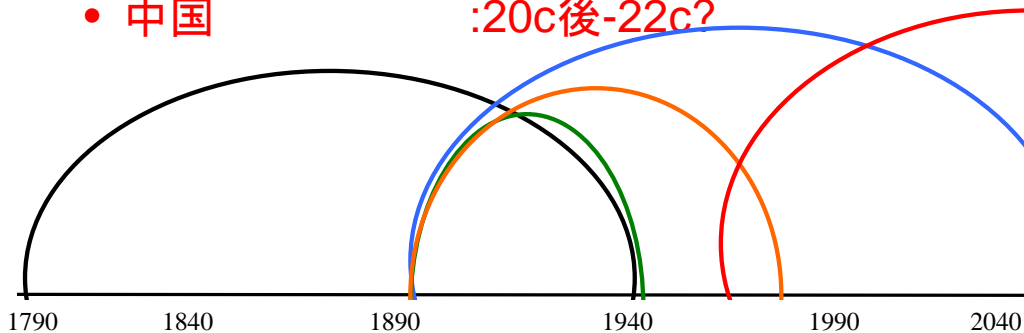
コンピューター、情報通信等の技術革新

21世紀初頭-(第四次グレート・ゲーム?)

中・印・露等の新興国の台頭(G7からG20へ)

パワー・シフト【第一シナリオ】

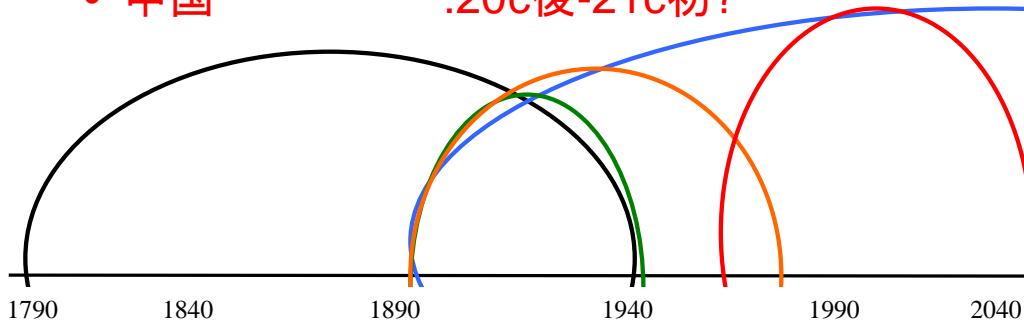
- パクス・ブリタニカ: 18c末-20c央 約150年
- ドイツ・日本 :19c末-20c央 約50年
- ロシア(ソ連) :19c末-20c末 約100年
- 米国 :19c末-21c央 約150年
- 中国 :20c後-22c?



パワー持続の条件: 広大な領土、人口拡大、技術革新、自由経済、政治的安定

パワー・シフト【第二シナリオ】

- パクス・ブリタニカ: 18c末-20c央 約150年
- ドイツ・日本 :19c末-20c央 約50年
- ロシア(ソ連) :19c末-20c末 約100年
- 米国 :19c末- 22c? 200年以上?
- 中国 :20c後-21c初?



パワー持続の条件=再生力: 広大な領土、人口拡大、技術革新、自由経済、政治的安定

米中首脳会談(2013年6月7-8日)

「新型大国関係」とは？
 米中は同床異夢？
 新興国は現状を受け入れよ
 新興国の勢力圏を認めよ
 習近平総書記の思惑
 大国としての扱いを求める
 新たな勢力均衡を求める
 新指導部の権威付けに必要
 オバマ大統領の思惑



既存の大国に挑戦しない「新興国」となってほしい
 米国の海洋覇権に挑戦すれば、必ず排除する
 米中協力合意：総論は賛成、各論は様子見？

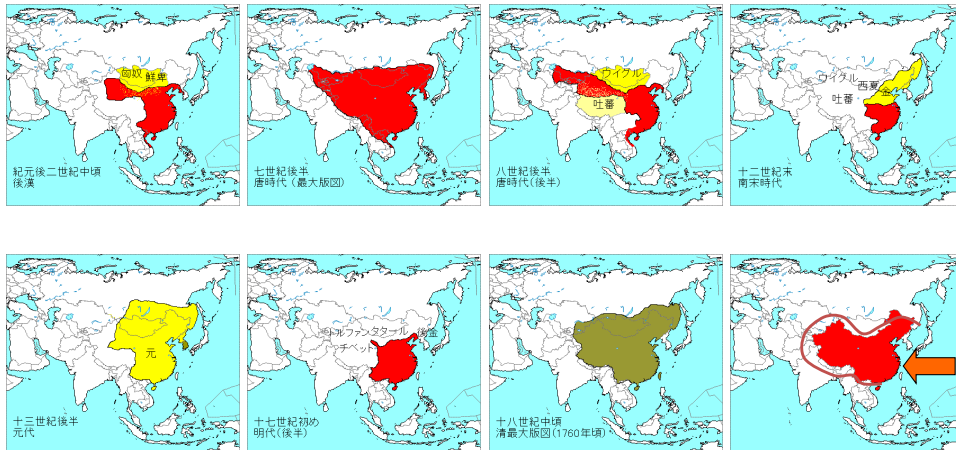
旧スライド

中国のA2/AD戦略



中国の第一、第二列島線：西太平洋の公海における航行の自由
 を事実上否定し、西太平洋の「現状変更」を目指すもの？

中国の膨張と縮小



今の中国で最も豊かで脆弱な地域は太平洋側の沿岸地域
日米に対抗し、西太平洋上の覇権を争う

中国の国家安全保障観

アヘン戦争以来のトラウマ

欧米・日本から受けた歴史的屈辱を晴らす

伝統的中華勢力圏の回復

明朝、清朝時代の栄光を取り戻す

13億の国民の生活向上

採算度外視でエネルギー・重要資源を確保

人口高齢化の恐怖

人口ボーナス:残された時間は10年程度?

中国共産党による指導の継続

民主化・人権保護への「圧力」には徹底抵抗

中国の経済政治発展モデル

	民主化が進む	独裁制が続く
経済的に繁栄する	第一モデル (経済繁栄→ 民主化促進)	第二モデル (経済繁栄→ 独裁継続)
経済的に行き詰る	第三モデル (経済衰退→ 体制変更) 3-a 民主革命モデル 3-b 無政府状態モデル	第四モデル (経済衰退→ 独裁継続)

「経済」が「政治」を定義するのではなく、
中国では「政治」が「経済」を定義する

2-a 軍事大国化モデル
2-b 現状維持モデル

中国の国家観・民族観・倫理観

「天」と「地」と「易姓革命」(パワーの終わり)
 君子が徳を失い、天に見限られた時、天命が革(あらた)まり、君子の姓が易(か)わる=性善説
 漢族文明に対する三大挑戦(心的外傷)
 仏教(印)、モンゴル(遊牧)、西洋文明(一神教)
 太平天国、洋務運動、変法運動、義和団、辛亥革命、共産革命、改革開放でも克服できず
 一神教型の西洋民主思想との確執(人治)
 神が人を創るのではなく、人が神々を作る文明
 善悪ではなく、陰陽の二元論(陰陽の均衡感覚)

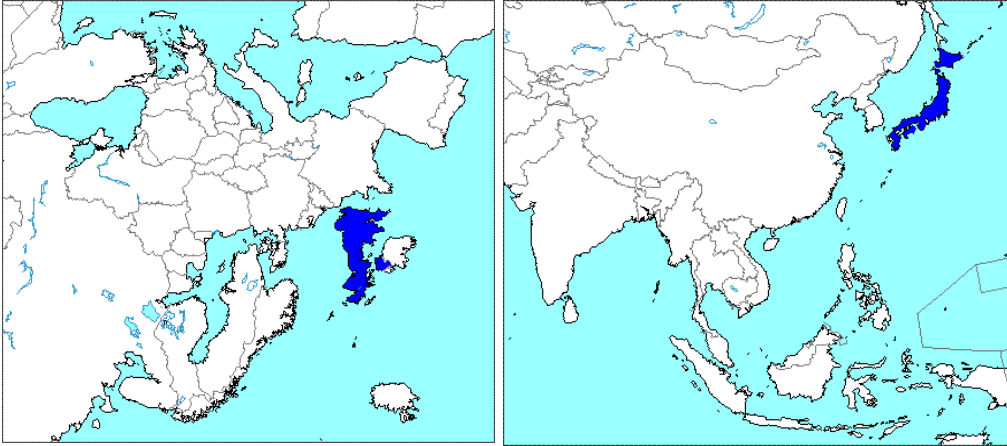
中国：七つのシナリオ

	民主化	独裁強化	民主化失敗
統一	①統一を維持し民主化に成功 超大国の誕生	②統一を維持し、逆に独裁が進行 第二文革・軍政	③統一を維持し民主化に失敗 ロシア型混乱
分裂	④統一が崩れ、夫々が民主化 現代欧州型 or 連邦、国家連合	⑤統一が崩れ、夫々が独裁強化 現代中東型 or アラブ連合型混乱	⑥統一が崩れ、夫々民主化が進み失敗する 現代アフリカ型 or 旧ソ連型混乱
混乱	⑦漢族内、少数民族内でも統一が崩れ、民主・独裁が共存する大混乱型：春秋戦国時代的混乱		

日本：七つの対応

	民主化	独裁強化	民主化失敗
統一	①統一を維持し民主化に成功 超大国の誕生 日本は周辺国化 米軍駐留大義低下 反日宣伝強まる	②統一を維持し、逆に独裁が進行 第二文革・軍政 第二冷戦に突入 日米安保維持拡大 反日宣伝強まる	③統一を維持し民主化に失敗 ロシア型混乱 是々非々対応 日米安保当面維持 反日宣伝強まる
分裂	④統一が崩れ、夫々が民主化 現代欧州型 アジア版 NATO？ 光栄ある孤立？ アジア版 EU？	⑤統一が崩れ、夫々が独裁強化 現代中東型 大陸の不安定化 日米安保の強化 日本スケープゴート	⑥統一が崩れ、民主化失敗型 現代アフリカ型 良い中国と悪い中国が出現し混乱 対日外交は複雑化
混乱	⑦漢族内、少数民族内でも統一が崩れ、民主・独裁が共存する大混乱型：「島国同盟」のスメ		

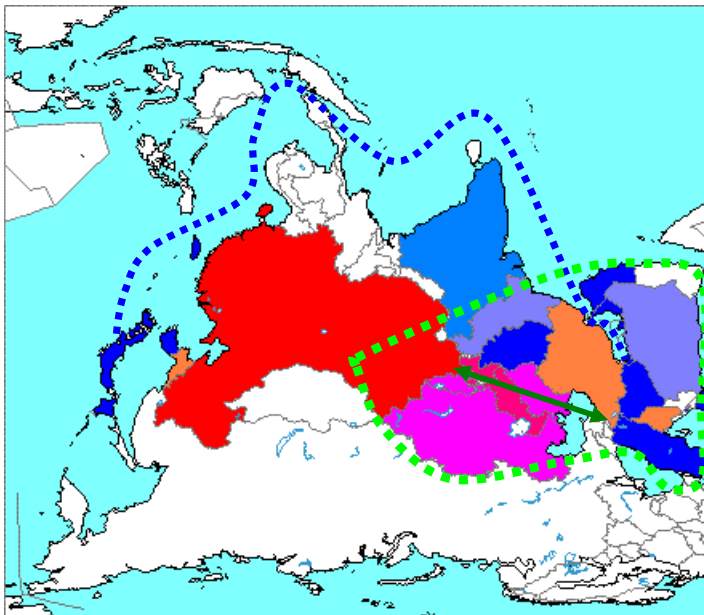
英国と日本:「島国同盟」のススメ



- ①大陸での勢力均衡: 覇権国家出現を阻止
- ②大陸との健全な距離: 過度な介入を回避
- ③シーレーンの維持: 自由貿易制度の維持

中国から見える日米同盟

旧スライド



・日米は中国の太平洋進出を邪魔する

・日中の中東産油地帯へのシーレーンは重なっている

・中国は大陸中央部でイスラム圏と重なっている

2020年までに備えるべきこと

- 米国は同時に二つの大戦争を戦えない？
 - 米(海)軍という公共財を誰が活用するのか？
- 米撤退後の中東に「力の空白」が生ずる？
 - 真空をイランが埋め、新たな紛争の種を生む？
- 中国の経済成長が頭打ちになる？
 - 人口ボーナス終焉で、中国社会が質的变化？
- シェールガス生産拡大で中東依存薄まる？
 - 追い詰められた中国と誤算による衝突が発生？
- 中東と東アジアで同時に危機が進行する？
 - 各国間で二つの地域政策の調整は可能か？

ゲームルールは変わった①

1945年まで、国家による戦争は、一定の条件の下で、国際法上合法的行為だった
国連憲章成立後、戦争は基本的に違法となり、自衛以外の戦争は認められなくなった
1945年までは、仮に領土が奪われても、戦争により取り返すことが認められていた
しかし、国連憲章成立後、領土を回復するための戦争は違法である

ゲームルールは変わった②

戦後の国際社会で名誉ある地位を目指す日本は
国際法に反する行為は一切行わない
戦後国際ルールは国連憲章と「自由」、「民主」、
「人権」、「人道」などの普遍的価値である
普遍的価値に挑戦し、既存の秩序を受け入れな
い勢力は国際秩序作りに参画すべきではない
日本は今後の国際秩序作りに最初から参画すべ
きである

日本の国家ビジョン

東アジアでのパワーシフトを生き延びる日本
日本近代化経験は中国が求める答の一部
東アジア伝統文化と西洋文明との折り合い
(帝国ではなく)国民国家を志向する
普遍的価値を伝統文化の中に受容する
武力による自己主張を自制する
日本自身が普遍的価値の進化に貢献すべし
日本自身の「保守主義」の進化が必要
国家統治システム
普遍性、合理性、永続性こそが日本の価値